

Annual Report 2004

CONTENTS

財務ハイライト	1
株主の皆様へ	2
経営方針	4
主な製品とサービス	8
お客様事例紹介	10
ソフトウェア・サービス	14
プラットフォーム	16
電子デバイス	18
研究開発	19
知的財産	20
環境活動への取り組み	22
社会活動への取り組み	23
役員紹介	24
5年間の主要財務データ	26
経営陣による業績の検討及び分析	27
連結貸借対照表	34
連結損益計算書	36
連結資本勘定計算書	37
連結キャッシュ・フロー計算書	38
連結財務諸表の注記	40
独立監査人の監査報告書	56
重要な連結子会社・関連会社、株主メモ	57

見直しに関する注意事項

このアニュアルレポートに記載されている内容は、現時点の経営予測や仮説にもとづく、将来の見直しに関する記述が含まれています。これらの将来の見直しに関する記述において明示または黙示されていることは、既知または未知のリスクや不確実な要因により、実際の結果・業績または事象と異なることがあります。実際の結果・業績または事象に影響を与えうるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます（但しここに記載したものはあくまで例であり、これらに限られるものではありません）。

富士通の提供するサービスまたは製品にとって主要な地域（アメリカ合衆国、EU諸国、日本、その他アジア諸国など）のマクロ経済環境や市況動向。中でも当社顧客のIT支出に影響をおよぼすような経済環境要因。・急速な技術変革や顧客需要の変動、および富士通が参入しているIT市場、通信市場、電子デバイス市場での激しい価格競争。・他社との戦略的提携や、合理的条件下での他社との取引を通じて、富士通が特定のビジネスから撤退し、関連資産を処分する可能性、およびこのような撤退・処分から発生する損失の影響。・特定の知的財産権の利用に関する不確実性。特定の知的財産権の防御に関する不確実性。・富士通の戦略的提携企業の業績に関する不確実性。・富士通の保有する国内外企業の株式の価格下落が、損益計算書や貸借対照表などの財務諸表に与える影響。およびこの保有株式の株価下落により発生した富士通の年金資産の評価減とこれを補うために追加拠出される費用の発生による影響。・顧客企業の業績不振、資金ショート、支払不能、倒産などに起因する売掛債権の回収遅延や回収不能によって、当社が被る損害の影響。・富士通が売上高をあげている主な国の通貨、および富士通が資産や負債を計上している主な国の通貨と日本円との為替レートの変動により発生する為替差損益の影響（特に、日本円と、イギリスポンド、アメリカドルとの間の為替差損益の影響）。